

香港首位・上海2位を維持

■ACI・25年空港貨物量ランキング、ハブ空港で明暗

国際空港評議会（ACI）は14日、2025年（1～12月）の世界の空港貨物取扱量ランキング（速報値）を発表した。香港は2.7%増の507万256トンで首位、上海・浦東が8.6%増の409万6016トンで2位を維持した。インテグレーターの本拠地であるメンフィス（MEM）は20.9%減の296万9502トンとなった一方、ルイビル（SDF）は13.5%増の339万6437トンとなり、明暗が分かれた。

ACIは、堅調なEC需要などを背景に、総量は2.9%増の1億2890万トンに伸びたと推定した。24年実績で上位10空港の圏外となった成田

は、25年も圏外が続いた。

インテグレーターの本拠地であるメンフィス（MEM）は順位が前年の3位から6位に下がった。UPSの本拠地であるSDFは前年の5位から4位に上がった。

24年比で2ケタ以上増加した空港はSDFのほか、マイアミが13.6%増の312万8165トンとなり、順位が前年の7位から5位に上がった。

ACIの2025年空港貨物取扱量ランキング（速報）

順位	順位			空港名	貨物取扱量 (トン)	24年比 (%)	19年比 (%)
	25年	24年	19年				
1	1	1		香港	5,070,256	2.7	5.4
2	2	3		上海・浦東	4,096,016	8.6	12.7
3	4	6		アンカレジ	3,854,614	4.2	40.4
4	5	4		ルイビル	3,396,437	13.5	21.7
5	7	12		マイアミ	3,128,165	13.6	49.5
6	3	2		メンフィス	2,969,502	▲20.9	▲31.3
7	6	5		ソウル・仁川	2,954,684	0.3	6.9
8	8	8		ドーハ	2,614,214	▲0.1	18.0
9	10	9		台北・桃園	2,499,899	10.1	14.6
10	9	17		広州・白雲	2,439,248	2.4	27.0

注：貨物取扱量は貨物・郵便の積み込み量、取り下ろし量およびトランジット貨物量の合計

また、台北・桃園が10.1%増の249万9899トンとなり、10位から9位に上がった。